

平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成25年6月28日

上場取引所 東・大

上場会社名 株式会社 高島屋
 コード番号 8233 URL http://www.takashimaya.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鈴木 弘 治
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 加藤 ナ ナ

(TEL) (03) 3211-4111

四半期報告書提出予定日 平成25年7月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績 (平成25年3月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	214,007	3.2	6,094	3.6	7,715	21.0	4,016	4.0
25年2月期第1四半期	207,348	6.5	5,884	68.7	6,374	47.0	3,860	125.5

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 11,491百万円 (97.6%) 25年2月期第1四半期 5,816 百万円 (216.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	12.17	11.32
25年2月期第1四半期	11.70	10.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第1四半期	816,832	345,209	41.5
25年2月期	790,687	335,443	41.7

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 339,066百万円 25年2月期 329,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年2月期	—				
26年2月期(予想)		5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想 (平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	431,000	2.7	10,200	0.7	11,800	0.5	5,300	△19.7	16.06
通期	897,000	3.1	28,000	9.9	30,000	0.4	16,700	1.0	50.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名） 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期1Q	330,827,625株	25年2月期	330,827,625株
② 期末自己株式数	26年2月期1Q	937,311株	25年2月期	933,661株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期1Q	329,892,367株	25年2月期1Q	329,900,232株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	12
4. 補足情報	13
(1) 個別決算の概況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(2013年(平成25年)3月1日～2013年(平成25年)5月31日)におけるわが国経済は、過度な円高の是正に伴う企業業績の回復やデフレ脱却による景気回復への期待などから、明るさを取り戻しつつあります。しかしながら、上昇を続けていた株価も調整局面を迎えるなど、今後も経済情勢について注視を要する状況にあります。

そのような環境のもと、当社グループは構造改革を進めるとともに営業力強化に努めました。さらに、収益力の高いグループ会社を有する強みを活かすことにより、グループの総合力を結集し、業績の改善に努めました。

その結果、連結営業収益は214,007百万円(前年同期比3.2%増)、連結営業利益は6,094百万円(前年同期比3.6%増)、連結経常利益は7,715百万円(前年同期比21.0%増)となり、連結四半期純利益は4,016百万円(前年同期比4.0%増)となりました。

セグメントの概況は、次のとおりです。

<百貨店業>

百貨店業においては、「国内百貨店業の変革」を掲げ、大型店の営業基盤強化や特徴化の推進、集客力強化に努めてまいりました。大型店では、横浜店が全館改装の一環として婦人服・婦人雑貨の改装を実施し、売上が順調に推移しました。また、大阪店は梅田地区の新規商業施設開業がありましたが、南海会館ビルの一部返却に合わせた改装や地域密着の取り組みを実施し増収を維持しました。開店80周年の日本橋店は世田谷美術館で開催された「暮らしと美術と高島屋」展と連動した文化催事など集客力強化に注力し好調に推移しました。加えて、株価上昇による資産効果等により、これまでも堅調に推移してきた特選衣料雑貨や宝飾品などの高額品が更に高い売上の伸びを示しました。この結果、大型5店舗とも増収となり、国内百貨店業は増収増益となりました。

海外では、タカシマヤ・シンガポール LTD. が中国正月、イースター等のシーズンプロモーションにより売上が好調に推移したことに加え、円安による為替影響もあり増収増益となりました。

この結果、営業収益は189,084百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益は2,689百万円(前年同期比8.0%増)となりました。

<建装事業>

建装事業においては、高島屋スペースクリエイツ株式会社が、商業施設等からの受注の減少により、営業収益は減収となりました。加えて、住宅リフォーム事業の規模拡大のための営業費が増加したこともあり減益となりました。

この結果、営業収益は4,307百万円(前年同期比8.5%減)、営業利益は15百万円(前年同期比56.0%減)となりました。

<不動産業>

不動産業においては、東神開発株式会社が、玉川、柏、流山おおたかの森等のショッピングセンターの好調により、増収増益となりました。また、トーシン ディベロップメント シンガポール PTE., LTD. では、専門店の好調による家賃収入増に加え円安による為替影響もあり、増収増益となりました。

この結果、営業収益は8,827百万円(前年同期比6.0%増)、営業利益は2,160百万円(前年同期比10.3%増)となりました。

<金融業>

金融業においては、高島屋クレジット株式会社が、消費の回復によりショッピング取扱高は堅調に推移したものの、金利収入が減少したことにより営業収益は前年並みとなりました。一方、販促費や債権管理強化のための先行投資による営業費増により減益となりました。

この結果、営業収益は3,034百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益は1,069百万円(前年同期比1.1%減)となりました。

<その他>

クロスメディア事業においては、ネットメディア・カタログメディア・テレビメディアとも堅調に推移し増収となりました。

また、機能子会社である株式会社高島屋サービスは、減収となったものの、業務委託の見直しや要員効率化等の原価低減による収益性の改善を図り、黒字転換しました。

この結果、クロスメディア事業等その他全体での営業収益は8,753百万円(前年同期比12.3%増)、営業利益は63百万円(前年同期は営業損失123百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産は、816,832百万円と前連結会計年度末に比べ26,145百万円増加しました。これは受取手形及び売掛金、投資有価証券が増加したことなどによるものです。負債については、471,622百万円と前連結会計年度末に比べ16,378百万円増加しました。主な要因は支払手形及び買掛金が増加したことなどによるものです。純資産については、345,209百万円と前連結会計年度末に比べ9,766百万円増加しました。

営業活動キャッシュ・フローは、9,836百万円の収入となり、前年同期に比べ5,408百万円の収入の増加となりました。主な要因は、仕入債務の増減額が3,876百万円増加したことなどによるものです。

投資活動キャッシュ・フローは、7,621百万円の支出となり、前年同期に比べ3,149百万円の支出の減少となりました。主な要因は、有形及び無形固定資産の取得による支出が1,894百万円増加したものの、定期預金の預入による支出が4,530百万円減少したことをはじめ、関係会社株式の取得による支出が690百万円減少したことなどによるものです。

財務活動キャッシュ・フローは、227百万円の収入(前年同期は17,723百万円の支出)となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出が20,230百万円減少したことをはじめ、長期借入れによる収入が2,300百万円減少したことなどによるものです。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5,041百万円増加し、69,021百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績につきましては、概ね予想通りに推移しております。現時点におきましては、2013年(平成25年)4月9日の決算発表時の業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年(平成25年)2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2013年(平成25年)5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	69,495	75,157
受取手形及び売掛金	98,978	109,506
有価証券	—	999
商品及び製品	37,270	39,233
仕掛品	443	519
原材料及び貯蔵品	521	567
その他	30,131	30,461
貸倒引当金	△577	△533
流動資産合計	236,263	255,913
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	154,003	154,913
土地	213,057	213,721
その他(純額)	11,695	11,968
有形固定資産合計	378,755	380,603
無形固定資産		
のれん	745	716
その他	28,233	28,503
無形固定資産合計	28,979	29,220
投資その他の資産		
投資有価証券	96,100	102,242
差入保証金	41,288	41,754
その他	12,094	9,761
貸倒引当金	△2,794	△2,662
投資その他の資産合計	146,688	151,095
固定資産合計	554,423	560,919
資産合計	790,687	816,832

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年(平成25年)2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2013年(平成25年)5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	87,883	98,329
短期借入金	19,172	23,561
未払法人税等	4,045	2,906
前受金	77,022	79,157
商品券	57,174	56,446
ポイント引当金	3,136	3,370
その他	46,212	49,258
流動負債合計	294,645	313,030
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	49,674	47,475
資産除去債務	1,301	1,382
退職給付引当金	43,648	43,450
役員退職慰労引当金	207	216
環境対策引当金	651	647
その他	35,116	35,419
固定負債合計	160,597	158,592
負債合計	455,243	471,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	56,025	56,025
資本剰余金	45,085	45,085
利益剰余金	206,440	208,806
自己株式	△536	△540
株主資本合計	307,014	309,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,106	15,940
繰延ヘッジ損益	1	8
土地再評価差額金	8,537	8,537
為替換算調整勘定	1,767	5,202
その他の包括利益累計額合計	22,413	29,689
少数株主持分	6,015	6,142
純資産合計	335,443	345,209
負債純資産合計	790,687	816,832

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2012年(平成24年) 3月1日 至 2012年(平成24年) 5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2013年(平成25年) 3月1日 至 2013年(平成25年) 5月31日)
売上高	193,702	199,848
売上原価	142,889	147,913
売上総利益	50,813	51,934
その他の営業収入	13,646	14,159
営業総利益	64,459	66,093
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	6,825	6,504
ポイント引当金繰入額	661	1,018
貸倒引当金繰入額	44	70
役員報酬及び給料手当	15,938	15,977
退職給付費用	1,671	1,113
不動産賃借料	9,328	10,170
その他	24,104	25,143
販売費及び一般管理費合計	58,574	59,999
営業利益	5,884	6,094
営業外収益		
受取利息	75	89
受取配当金	93	103
債務勘定整理益	170	35
持分法による投資利益	555	650
為替差益	—	735
その他	275	341
営業外収益合計	1,171	1,955
営業外費用		
支払利息	325	275
為替差損	190	—
その他	166	59
営業外費用合計	682	334
経常利益	6,374	7,715
特別損失		
固定資産除却損	389	1,396
特別損失合計	389	1,396
税金等調整前四半期純利益	5,984	6,318
法人税、住民税及び事業税	1,401	1,650
法人税等調整額	485	452
法人税等合計	1,887	2,103
少数株主損益調整前四半期純利益	4,097	4,215
少数株主利益	237	199
四半期純利益	3,860	4,016

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2012年(平成24年) 3月1日 至 2012年(平成24年) 5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2013年(平成25年) 3月1日 至 2013年(平成25年) 5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,097	4,215
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,479	3,771
繰延ヘッジ損益	△12	6
為替換算調整勘定	1,734	2,051
持分法適用会社に対する持分相当額	1,476	1,446
その他の包括利益合計	1,718	7,276
四半期包括利益	5,816	11,491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,579	11,292
少数株主に係る四半期包括利益	237	199

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2012年(平成24年) 3月1日 至 2012年(平成24年) 5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2013年(平成25年) 3月1日 至 2013年(平成25年) 5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,984	6,318
減価償却費	4,791	4,620
のれん償却額	23	28
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△206	△175
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△16	△16
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△475	△197
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△7	9
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△217	234
受取利息及び受取配当金	△169	△192
支払利息	325	275
持分法による投資損益(△は益)	△555	△650
固定資産売却損益(△は益)	0	—
固定資産除却損	259	951
売上債権の増減額(△は増加)	△7,306	△10,154
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,031	△2,031
仕入債務の増減額(△は減少)	5,885	9,761
その他	480	2,644
小計	6,763	11,426
利息及び配当金の受取額	955	1,257
利息の支払額	△308	△168
法人税等の支払額	△2,982	△2,678
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,428	9,836
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,685	△155
定期預金の払戻による収入	—	29
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△2	△203
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	—	0
関係会社株式の取得による支出	△690	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△5,396	△7,291
有形及び無形固定資産の売却による収入	9	—
その他	△5	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,770	△7,621
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	40
長期借入れによる収入	5,300	3,000
長期借入金の返済による支出	△21,080	△849
配当金の支払額	△1,649	△1,649
その他	△292	△313
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,723	227

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2012年(平成24年) 3月1日 至 2012年(平成24年) 5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2013年(平成25年) 3月1日 至 2013年(平成25年) 5月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,356	2,598
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△21,709	5,041
現金及び現金同等物の期首残高	76,077	63,980
現金及び現金同等物の四半期末残高	54,368	69,021

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自2012年(平成24年)3月1日至2012年(平成24年)5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	百貨店業	建装事業	不動産業	金融業	計				
営業収益									
(1)外部顧客への営業収益	183,464	4,708	8,328	3,052	199,553	7,795	207,348	—	207,348
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,413	381	1,091	970	3,856	6,802	10,659	△10,659	—
計	184,877	5,090	9,419	4,022	203,410	14,598	218,008	△10,659	207,348
セグメント利益又は損失(△)	2,489	35	1,959	1,080	5,565	△123	5,441	442	5,884

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信販売事業、卸売事業、衣料品加工業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額442百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2013年(平成25年)3月1日 至 2013年(平成25年)5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	百貨店業	建装事業	不動産業	金融業	計				
営業収益									
(1)外部顧客への営業収益	189,084	4,307	8,827	3,034	205,253	8,753	214,007	—	214,007
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,533	1,802	1,085	1,094	5,515	6,866	12,382	△12,382	—
計	190,617	6,110	9,912	4,128	210,769	15,620	226,389	△12,382	214,007
セグメント利益	2,689	15	2,160	1,069	5,934	63	5,998	95	6,094

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信販売事業、卸売事業、衣料品加工業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額95百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 個別決算の概況

2014年(平成26年)2月期 第1四半期の個別決算概況について

I. 実績

(単位：百万円、%)

	前第1四半期累計期間 (自 2012年(平成24年) 3月1日 至 2012年(平成24年) 5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2013年(平成25年) 3月1日 至 2013年(平成25年) 5月31日)	増減額	増減率
営業収益	164,186	166,446	2,260	1.4
売上高	161,764	164,029	2,265	1.4
売上総利益率	25.58	25.46	△0.12	—
販売費及び一般管理費	42,579	42,677	97	0.2
営業利益	1,221	1,492	271	22.2
経常利益	2,663	4,548	1,884	70.7
四半期純利益	2,115	2,790	674	31.9

II. 店別売上高

(単位：百万円、%)

	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
大阪店	28,773	17.8	28,779	17.5	5	0.0
堺店	3,602	2.2	3,543	2.2	△59	△1.6
京都店	19,831	12.3	20,396	12.4	564	2.8
泉北店	4,718	2.9	4,667	2.9	△51	△1.1
日本橋店	30,227	18.7	30,848	18.8	620	2.1
横浜店	31,659	19.6	32,388	19.7	728	2.3
港南台店	2,424	1.5	2,417	1.5	△6	△0.3
新宿店	15,277	9.4	15,695	9.6	417	2.7
玉川店	9,349	5.8	9,725	5.9	375	4.0
立川店	4,212	2.6	4,159	2.5	△53	△1.3
大宮店	2,912	1.8	2,725	1.7	△186	△6.4
柏店	8,773	5.4	8,682	5.3	△90	△1.0
㈱高島屋計	161,764	100.0	164,029	100.0	2,265	1.4
国内 子会 社	岡山高島屋	4,332	4,446		113	2.6
	岐阜高島屋	3,814	3,841		26	0.7
	米子高島屋	1,525	1,544		19	1.3
	高崎高島屋	3,613	3,663		49	1.4
国内子会社を含む総計	175,051		177,525		2,474	1.4

(注) 1. 大阪店には和歌山店を、京都店には洛西店を含めております。

2. 法人事業部及びクロスメディア事業部の売上高は、それぞれ所在する地区の各店に含めております。

Ⅲ. 販売費及び一般管理費

(単位：百万円、%)

	前第1四半期累計期間	当第1四半期累計期間	増減額	増減率
人件費	14,283	13,796	△487	△3.4
宣伝費	6,921	7,084	162	2.4
総務費及び庶務費	14,017	14,350	333	2.4
経理費	7,357	7,445	88	1.2
計	42,579	42,677	97	0.2

Ⅳ. 営業外損益

(単位：百万円、%)

	前第1四半期累計期間	当第1四半期累計期間	増減額	増減率
営業外収益	2,340	3,638	1,298	55.5
受取利息・配当金	2,047	2,514	466	22.8
雑収入	292	1,124	831	284.0
営業外費用	898	583	△314	△35.1
支払利息	568	517	△50	△8.9
雑損失	330	65	△264	△80.1

Ⅴ. 特別利益・特別損失

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間	
特別利益	—	—	—	—
計	—	—	—	—
特別損失	固定資産除却損	219	固定資産除却損	1,284
計		219		1,284